

掛川市「考古の日」記念

出土文化財展

と き：平成8年8月1日(木)～4日(日)

と ころ：掛川市生涯学習センターギャラリー1階



火事で焼けた竪穴住居

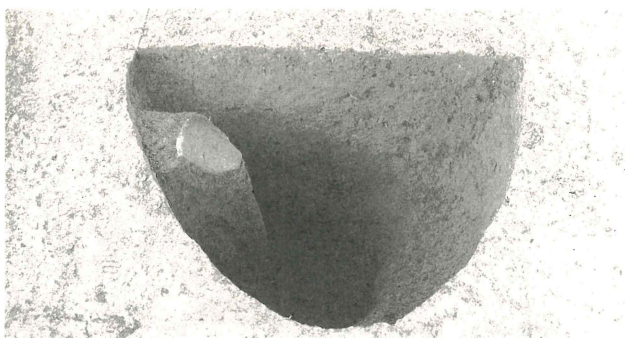
1996

掛川市教育委員会

あんようじ

安養寺Ⅱ遺跡

1. 調査地 掛川市安養寺130-1 外
2. 調査の原因 水垂土地改良事業
3. 調査の面積 700㎡
4. 調査の期間 平成7年8月～平成8年3月
5. 調査の内容 調査では、縄文時代晩期の土器の入った穴状遺構と平安時代後期の土器を含む穴状遺構や焼土痕を発見しました。



穴状遺構（縄文時代晩期）の発見



出土した土器

あんようじ

安養寺Ⅲ遺跡

1. 調査地 掛川市安養寺62-3 外
2. 調査の原因 水垂土地改良事業
3. 調査の面積 475㎡
4. 調査の期間 平成7年8月
5. 調査の内容 調査では、古墳時代前期の住居跡2軒と平安時代後期の土壇墓を発見し、中から土器や鉄製の短刀が出土しました。



土器や短刀の出土状況



発見された竪穴住居

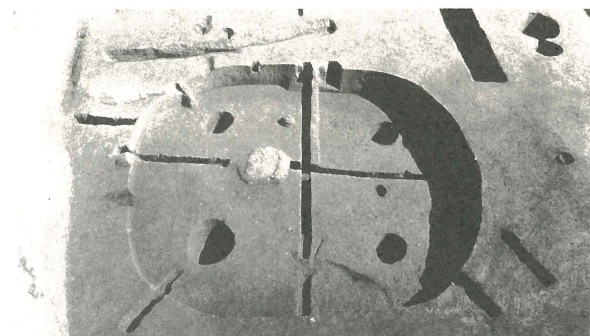
ひがしのや

東ノ谷遺跡

1. 調査地 掛川市長谷字東ノ谷1757-4 外
2. 調査の原因 長谷土地区画整理事業
3. 調査の面積 500㎡
4. 調査の期間 平成7年8月～平成7年10月
5. 調査の内容 調査では、弥生時代後期（1,700年前）の集落が発見され、火事で焼けた^{たてあなじゅうきよ}竪穴住居や^{ほったてぼしらたてもの}掘立柱建物が確認されました。



焼け落ちた^{たるき}垂木とこわれた土器

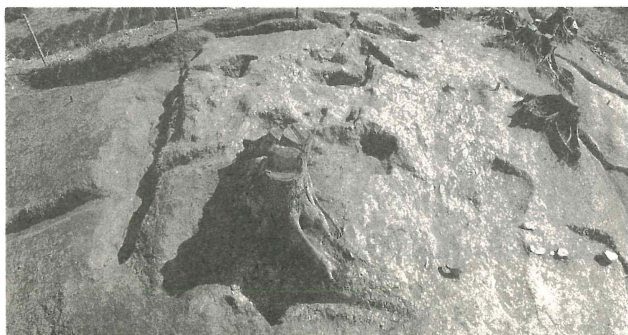


竪穴住居

まえつぼ

前坪6号墳

1. 調査地 掛川市高御所字本村1433-1 外
2. 調査の原因 長谷土地区画整理事業
3. 調査の面積 1,000㎡
4. 調査の期間 平成7年12月～平成8年3月
5. 調査の内容 調査では、弥生時代中期（2,000年前）から古墳時代中期（1,500年前）までの墓や古墳が発見されました。



墓（弥生時代中期）

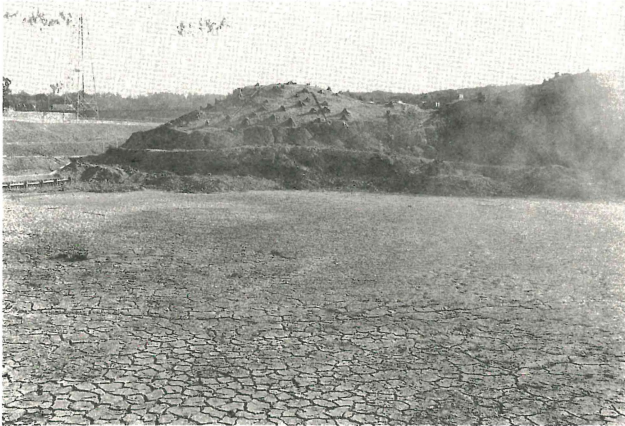


墓（弥生時代後期）

にしいけ

西池古墳

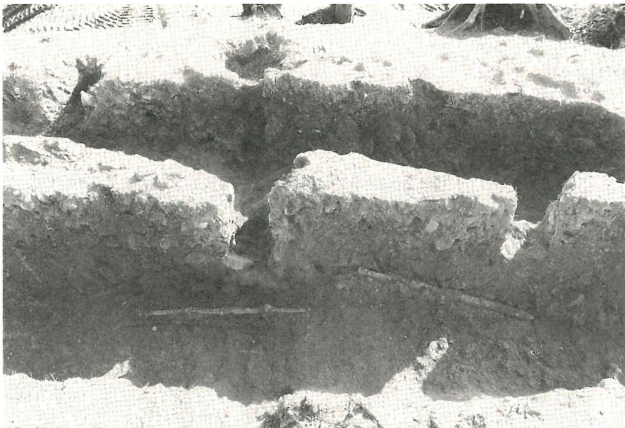
1. 調査地 掛川市長谷字西池1480-1 外
2. 調査の原因 長谷土地区画整理事業
3. 調査の面積 400 m²
4. 調査の期間 平成7年11月～平成7年12月
5. 調査の内容 調査では、古墳時代中期（1,500年前）の古墳が確認されました。古墳の規模は、直径20m、高さ2mです。
古墳の頂上からは、遺骸を埋葬した穴が4つ発見されました。埋葬した穴からは、鉄剣、やじり、小刀、勾玉やガラス玉などが発見されました。



古墳の全景



埋葬した穴から続く排水溝



死者にそえられた剣

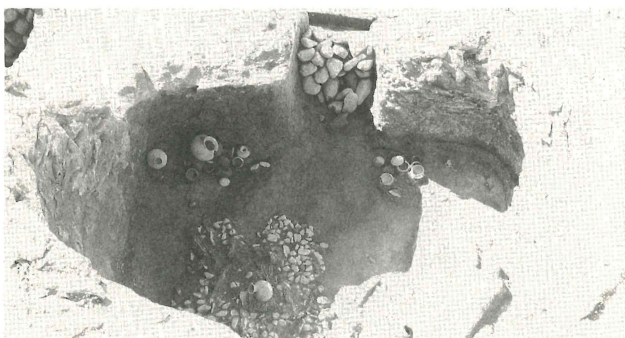


埋葬した穴

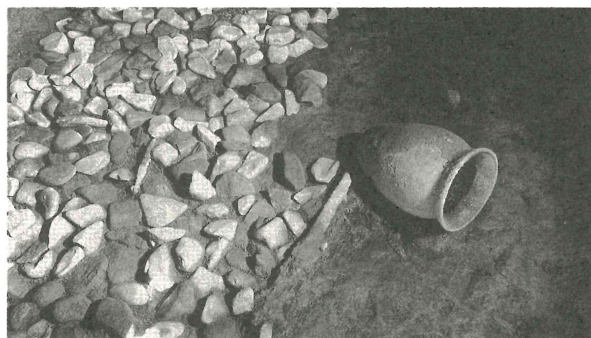
やまわきおうけつぐん

山脇横穴群

1. 調査地 掛川市長谷字山脇1755-3 外
2. 調査の原因 長谷土地区画整理事業
3. 調査の面積 100㎡
4. 調査の期間 平成7年11月～平成7年12月
5. 調査の内容 調査では、古墳時代後期（1,400年前）の横穴墓が3つ確認され、鉄刀、銅の腕輪、ガラス玉などが発見されました。



横穴墓全景

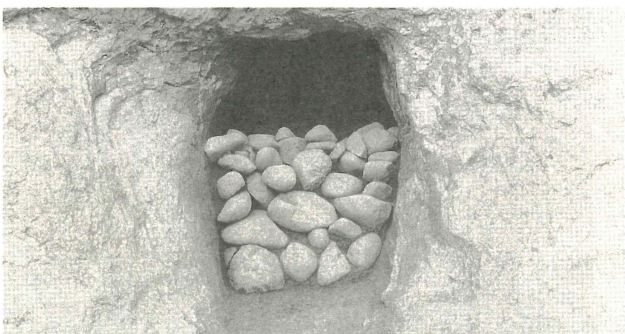


横穴墓内の刀とかめ

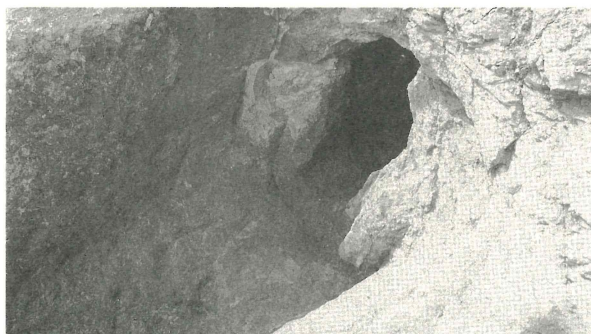
ほんむらおうけつぐん

本村横穴群 E 群

1. 調査地 掛川市高御所字本村1433-1 外
2. 調査の原因 長谷土地区画整理事業
3. 調査の面積 200㎡
4. 調査の期間 平成8年1月～平成8年3月
5. 調査の内容 調査では、古墳時代後期（1,400年前）の横穴墓が3つ確認され、金銅製の馬具、水晶製の玉などが発見されました。



横穴墓入口封鎖

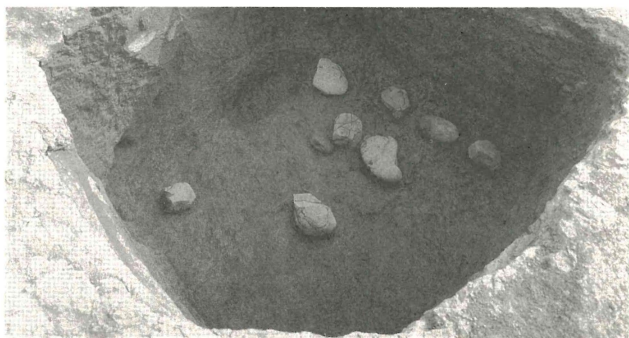


横穴墓入口

むかいやま

向山遺跡

1. 調査地 掛川市長谷字向山1772-1 外
2. 調査の原因 長谷土地区画整理事業
3. 調査の面積 600 m²
4. 調査の期間 平成7年7月～平成7年8月
5. 調査の内容 調査では、中^{ちゅうせい}世の地下式の墓が5つ確認されました。地下式の墓は関東に多く見られ、県内では3例目の発見です。



地下式の墓

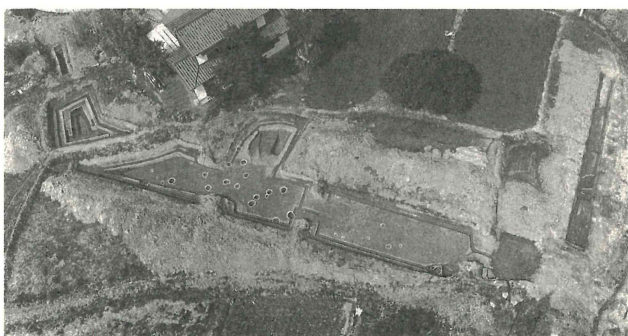


地下式の墓

やさかべっしょ

八坂別所遺跡

1. 調査地 掛川市八坂字田中前221-1 外
2. 調査の原因 県営農地総合開発事業（東山口地内）
3. 調査の面積 1,322 m²
4. 調査の期間 平成7年12月～平成8年3月
5. 調査の内容 この遺跡は弥生時代から鎌倉時代^{かまくらしだい}の集落跡と考えられています。今回の調査では、古墳時代の掘立柱建物が発見されました。



調査区の一部



古墳時代の掘立柱建物

はやし

林 遺 跡

1. 調 査 地 掛 川 市 吉 岡 9 8 7 - 1
2. 調 査 の 原 因 耐 震 防 火 水 槽 埋 設 工 事
3. 調 査 の 面 積 6 4 m²
4. 調 査 の 期 間 平 成 7 年 12 月
5. 調 査 の 内 容 調 査 で は、 弥 生 時 代 後 期 (1,800 年 前) の 竪 穴 住 居 跡 1 軒、 小 穴 が 発 見 さ れ ま し た。 遺 物 は 壺・甕・高 坏 が 出 土 し ま し た。



調 査 区 全 景

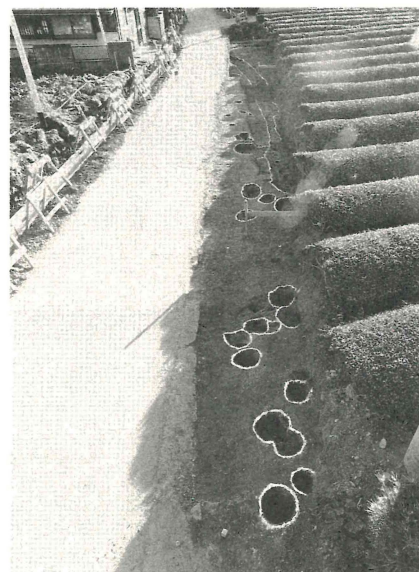


遺 物 出 土 状 況

うらもん

裏 門 遺 跡

1. 調 査 地 掛 川 市 幡 鎌 3 0 7
2. 調 査 の 原 因 市 道 幡 鎌 本 通 り 線 改 良 工 事
3. 調 査 の 面 積 6 6 m²
4. 調 査 の 期 間 平 成 7 年 11 月
5. 調 査 の 内 容 調 査 で は、 小 穴 と 道 の 跡 が 発 見 さ れ ま し た。 小 穴 は 掘 立 柱 建 物 の 柱 穴 と 思 わ れ ま す が、 調 査 範 囲 が 狭 か っ た た め、 規 模 は わ か り ま せ ん。 遺 物 は、 か わ ら け な ど が 見 つ か っ て い ま す。



調 査 区 全 景

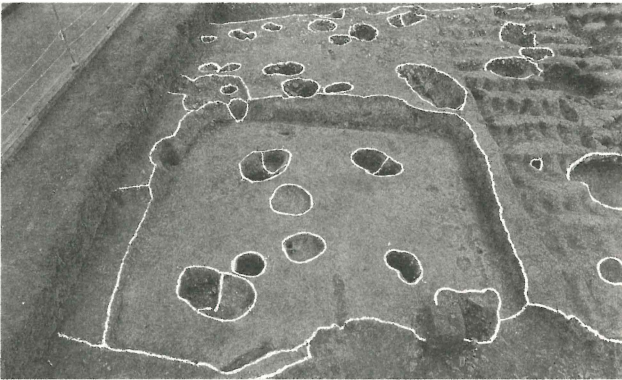
めだか

女高 I 遺跡

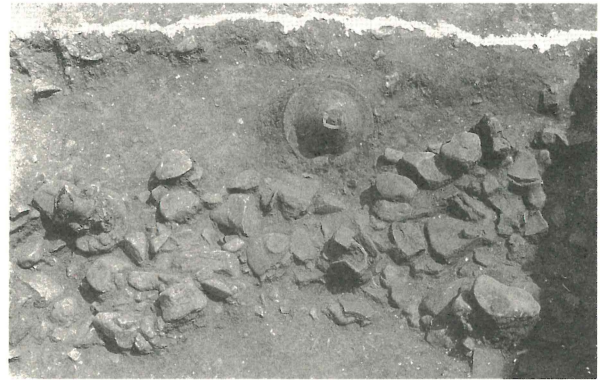
1. 調査地 掛川市吉岡字藤六1902-1
2. 調査の原因 個人茶畑改植
3. 調査の面積 1,400㎡
4. 調査の期間 平成7年7月～平成7年10月
5. 調査の内容

調査では、弥生時代後期初頭（1,800年前）から古墳時代中期（1,600年前）の竪穴住居跡、溝、掘立柱建物などが発見されました。

遺物は、弥生時代後期の溝から、壺・高坏が捨てられた状況で多量に見つかりました。また、古墳時代中期の竪穴住居跡からは、台付甕・高坏などが見つかりました。同じ時期の小穴からは、埴かんが見つっています。これらの時期の遺物は、この遺跡を含めて周辺の遺跡では見つかっていないものです。また、常滑焼とこなめやきの甕も見つっています。



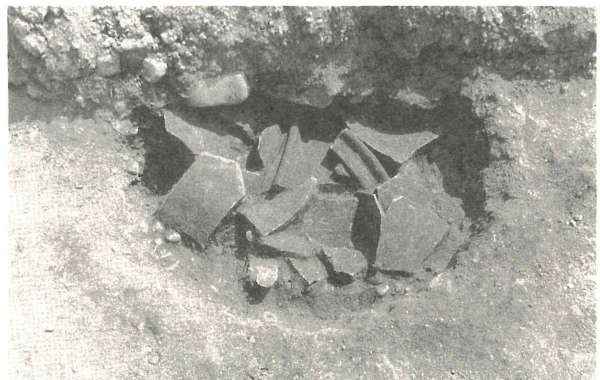
古墳時代中期の竪穴住居



溝 遺物出土状況



埴出土状況

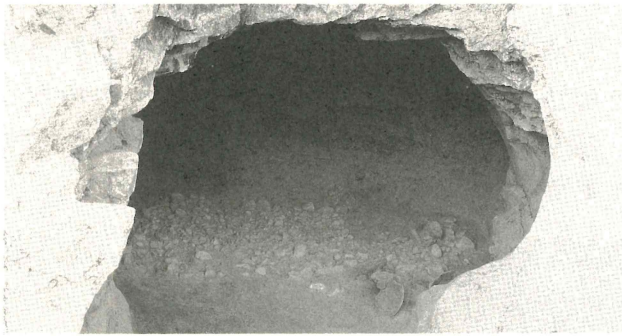


常滑焼 甕出土状況

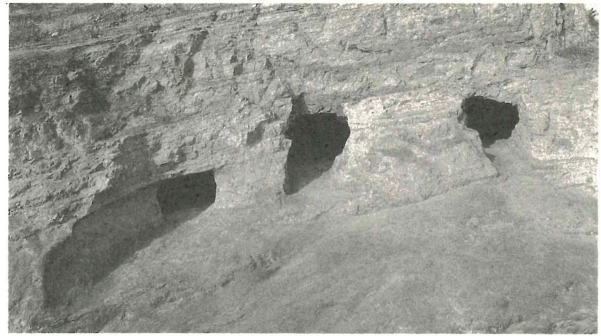
やさきおうけつぐん

矢崎横穴群 D 群

1. 調査地 掛川市上張 6 9 4
2. 調査の原因 東名 I・C 周辺土地区画整理事業
3. 調査の面積 5 0 m²
4. 調査の期間 平成 7 年 7 月～平成 8 年 3 月
5. 調査の内容 古墳時代後期（1,400年前）の横穴が、3基確認されました。
3基とも閉塞石^{へいそくせき}をもち、須恵器^{すえき}、土師器^{はしき}が発見されました。



横穴内遺物出土状況



横穴群全景

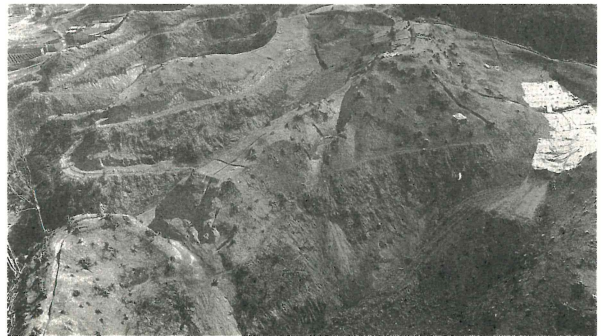
すぎ や じょう

杉谷城

1. 調査地 掛川市杉谷字猿田 5 2 9 - 1 外
2. 調査の原因 東名 I・C 周辺土地区画整理事業
3. 調査の面積 5 7, 3 3 3 m²
4. 調査の期間 平成 7 年 7 月～平成 8 年 3 月
5. 調査の内容 調査では、堀切^{ほりきり}、塹堀^{たてぼり}、土塁^{どるい}を確認しました。遺物は、鎌倉時代から江戸時代のものがありました。



調査区全景



堀切完掘

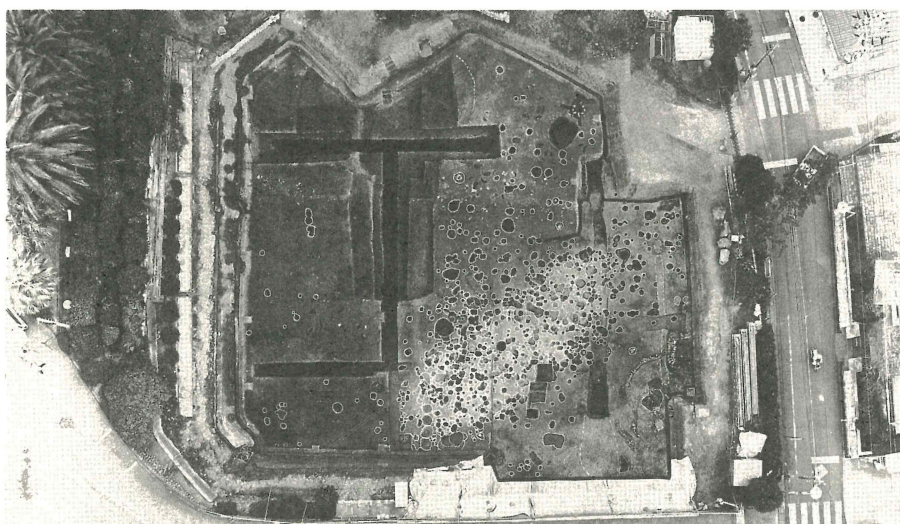
かけがわじょうし

掛川城址

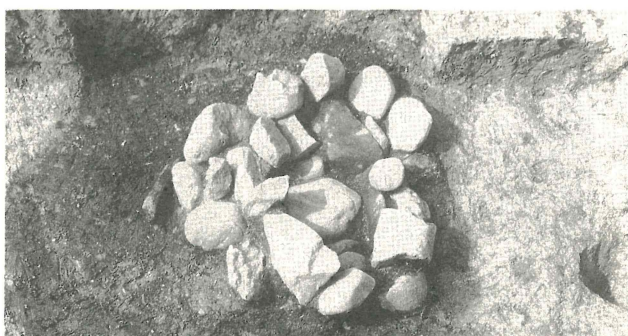
1. 調査地 掛川市掛川1, 078-1 外
2. 調査の原因 第一小学校プール改築工事
3. 調査の面積 1,350㎡
4. 調査の期間 平成7年6月～平成7年11月
5. 調査の内容

調査では、多くの建物跡が発見され、井戸の跡や掛川城大手門の基礎にも使われていた「礎石根固め石」も見つかりました。今回の調査地点は江戸時代に描かれた城絵図によると侍町とあることから、見つかった建物は武家屋敷であると考えられます。

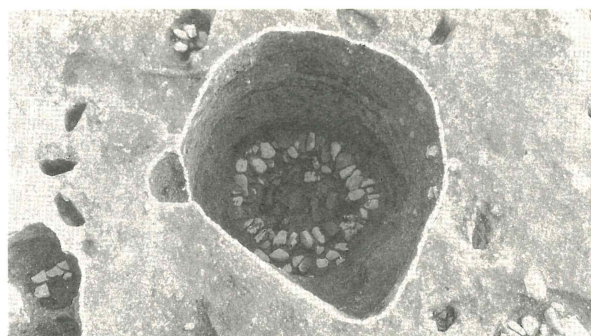
また、埋まった谷から弥生土器・土師器・須恵器・陶器などが多く出土しており、古くは弥生時代からこの周辺に大きなムラがあったと考えられます。



調査区全景



礎石根固め石

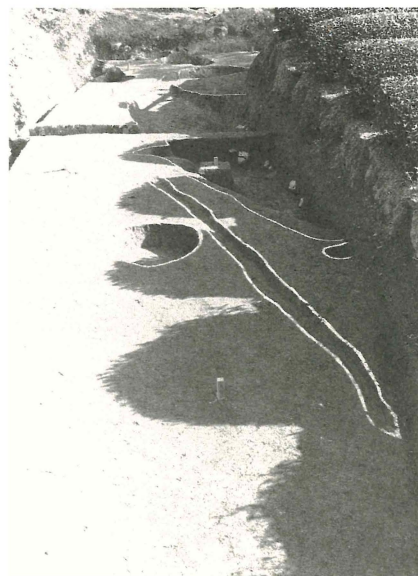


井戸の跡

わだ

和田遺跡

1. 調査地 掛川市原里1, 457 外
2. 調査の原因 高山農道改良工事
3. 調査の面積 465 m²
4. 調査の期間 平成7年11月～12月
5. 調査の内容 調査地点では、溝と小穴が発見されましたが、過去の土取り工事によって既に壊された部分がほとんどでした。遺物は縄文土器の破片や打製石斧だせいせきふが見つかりました。



遺構検出状況

下に遺跡がありませんか？

工事計画する前に確認してください。

現在、掛川市には940もの遺跡があり、県内一遺跡の多い市だと言われています。こうした遺跡（埋蔵文化財）は、私たちの“心のふるさと”とも言われ後世の人たちに伝えていくことが大切です。

このため、『埋蔵文化財保護法』で、遺跡のある場所で土木・建築工事や茶園の改植などをする場合には、事前に文化庁に届出をすることが義務づけられています。

工事のため申請をしたが、遺跡の調査で完成が遅れてしまった——— ということのないように、工事を計画する場合には、早めに掛川市教育委員会社会教育課にご相談ください。

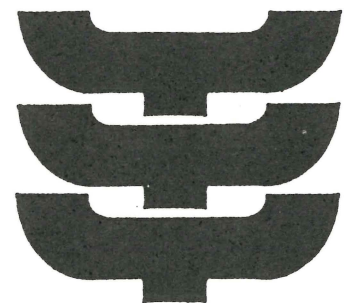
なお、市内にある遺跡の様子を示した『掛川市遺跡地図』があります。計画する前に是非確認してください。

・掛川市教育委員会 社会教育課文化係 TEL (21) 1158



掛川市「考古の日」

明和 9 年 5 月 21 日（陰暦）現在の長谷字小出ヶ谷地区において、銅鐸一口が発見され掛川藩に届出されました。これが現在の文化財保護法の遺物の発見届と同じことで、この日を記念して、市民の埋蔵文化財に対する理解と、これらを保護・保存しようとする意識の向上を願い、毎年 5 月 21 日を掛川市「考古の日」として設定しました。



文化財愛護シンボルマーク